

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
昭和村		A-1	昭和村からむし織情報発信事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R8年度	12,214千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
12,213千円	6,016千円		○	○		

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について
<p><現状></p> <p>東日本大震災により、「からむし織」を中心とする本村の産品についても売上等が回復しておらず、本村への来村やからむし織を中心とする本村製品の購入を控える等の風評が根強く残っている。</p> <p>特に、ALPS 処理水の海洋放出により、海外や県外での本村を含む福島県への風評の継続が懸念される所であり、令和6年度・令和7年度に実施した県外でのイベントの際にも来場者から福島の原子力災害のことやALPS 処理水に対する懸念の声が聞こえた。</p> <p>※H22年度 「からむし織」関連製品売上高 15,631千円</p> <p>R6年度 「からむし織」関連製品売上高 12,859千円</p>
上記の現状の原因となる課題について
<p><課題></p> <p>昭和村は農業以外に主だった産業がなく、経済産業省の伝統工芸品にも指定されている「からむし」関係の製品（着物、布、関連小物、「からむし」の葉を入れたうどん等の食品など）の販売が大きな産業の柱になっている。本村の復興のためには、「からむし」関係の製品の魅力を海外・県外に発信し、産業を回復させることが必要不可欠である。</p> <p>このため、令和6年度実施した事業の課題を踏まえ、海外・県外において本村や「からむし織」製品の魅力を伝えるとともに、令和7年度に新たに開発した「からむし織」の魅力をPRしながら、本村の柱となる産業を回復していく必要がある。</p>

上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）

<課題に対するこれまでの取組>

- ①令和6年度は、海外において「からむし」の生産過程を含め、「からむし織」について知られていないため、海外向けの情報発信を行った。
令和7年度には台湾およびアメリカで「からむし織」の新たな魅力をPRするイベントを開催。（1～3月開催予定）
- ②令和6年度から着物などの大消費地や織物などにゆかりのある地域や会場で「からむし織」の魅力を伝えるイベントを開催。
※R6年度：東京、京都 R7年度：東京（2月開催予定）、広島（10月開催）
- ③令和6年度は、風評が残る中、県外・海外での製品ニーズを把握する必要があるため、からむしの新たな魅力を把握するため、ニーズ調査を行った。
令和7年度は、令和6年度調査で把握したニーズを踏まえ、「からむし」織の新たな魅力を伝える新たな「からむし製品」（イベント展示品）を開発した。
※①に記載した台湾およびアメリカのイベントおよび②の東京イベントで展示する。

上記の取組における成果について

<これまでの取組における成果>

- ①海外向けのWEBサイト（英語・中国語）構築し、「からむし」の生産過程を含め、「からむし織」の情報発信を行うとともに、台湾において本村及び「からむし」のPRを行った。
また、台湾やアメリカでのPRイベントにおいて、からむし織の魅力をさせていただくことができた。
- ②令和6年度は、「からむし織」の魅力をPRするため、京都（有斐斎弘道館）、沖縄（宮古島市産業祭）、東京（大丸東京店）、令和7年度は、広島県（尾道市）、東京都の展示会においてPRイベントを開催し、多くの人に来場をいただき、本村及び「からむし」の魅力を伝えることができた。
- ③「からむし」の新たなニーズを把握するため、繊維関連事業者や大学、先進的な取組を行う工芸品事業者を訪問・調査した。
ニーズ調査の結果を踏まえ、「からむし」の新たな魅力をPRできる製品（展示品）を制作し、海外や県外でのイベントで魅力をPRすることができた。

<目標達成状況>

H22年度 「からむし織」関連製品売上高 15,631千円の目標に対して、R6年度は12,859千円となった。

※R6年度は当事業を活用して、売り上げをある程度回復させることはできたが、これまで県外でからむし織製品の販売を委託していた企業の展示会が受託者の高齢を理由に終了し、震災前の売り上げまでには回復していない状況にある。また、時間の経過とともに、本県の復興に関する支援に関する意識の希薄化が進んでいると思われる。

- ①台湾でのイベントを開催する中で、「からむし」の生産過程について丁寧に説明することができ、台湾の皆さんの理解を得ることができた。台湾でも原住民の方が「からむし」と同じような繊維を製造していることもあり、日本の「からむし」に対する共感が高く、「からむし織」を残すために協力したいとおっしゃっていただけの方が多くいらっしゃった。
また、円安等を背景として、インバウンド需要が高まるなど、海外において日本への関心の高まる中、海外において本村及び「からむし織」をPRする価値は高まっているため、令和8年度も台湾およびアメリカにおいて、「からむし織」及び本村をPRするとともに、継続的にからむし織を販売していただける販路開拓に取り組んでいく必要がある。

②県外でのイベントでは、からむしの手作りの生産過程を丁寧に説明し、すべての会場において来場者から好評を得て、本村と「からむし織」について、県外にお住まいの方々の理解を深めることができた。

令和8年度は一過性のイベントではなく、1か月間東京においてアンテナショップを設置し、これまで開発してきた新たな「からむし織」製品の販売や昭和村の素材をいかした新たな製品を開発し、試験的に販売することを通じて、「からむし」及び本村をPRする必要がある。

また、「からむし」製品を販売していただく企業を掘り起こすため、東京において開催される展示会に出展する必要がある。

③令和6年度の調査の中で、工芸品の振興支援のため、ふるさと納税を活用して、工芸品の販売につなげるとともに、ふるさと納税で得た財源を工芸品の新製品開発の支援としている取組があり、令和7年度は「からむし製品」をふるさと納税の商品を冊子やWEBを製作してPRをする。

今後は海外に向けて継続的に「からむし」関係製品を販売していくため、海外の方からの受注ができるECサイトを構築する必要がある。

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

1. 海外での継続販売に向けた体制構築事業

①実施期間：令和8年4月～令和9年3月

②実施体制：単独

③実施場所：台湾、米国

④概算費用：5,006千円

⑤実施内容：

円安等を背景として、インバウンド需要が高まるなど、海外において日本への関心の高まる中、海外において本村及び「からむし織」をPRする価値は高まっているため、令和8年度も台湾およびアメリカにおいて、「からむし織」及び本村をPRするとともに、継続的にからむし織を販売していただける販路開拓に取り組んでいく。

・台湾におけるPRイベント（1月ごろに実施予定）

令和7年度と同様に、台北のギャラリーなどを会場に、本村及び「からむし織」をPRするイベントを5日間にわたり実施する。

また、本事業のPRのため、台湾のインフルエンサーを活用してSNSで情報発信を行うほか、現地Webメディアとタイアップしてイベントの記事を掲載してもらうなど当イベントへの関心を高めながらイベントを開催し、本村及び「からむし織」の魅力を発信する。（SNSストーリー記事10本、写真10枚前後を予定）

・米国向け情報発信

米国カリフォルニアでセレクトショップを営む事業者と接点が生まれたことから、現地のニーズを踏まえながら展示内容を企画し、本村及びからむし織製品の魅力を米国においてPRする。

⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

原子力災害以降、売り上げが落ち込んでいる「からむし織」を中心とした製品や本村をPRする。

PRイベントにおいて、福島県復興情報ポータルサイトを案内（パンフレットやQRコードの設置等）する等、復興・創生に向けた取り組みを発信する。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

古より手作りで生産される「からむし」を海外のニーズに合わせて開発した製品および本村の魅力をPRする。

2. 首都圏における長期 PR 事業

①実施期間：令和8年8月ごろ

②実施体制：単独

③実施場所：東京都

④概算費用：4,566 千円

⑤実施内容：

これまで県外のギャラリー等で5日間程度イベントを実施してきたが、反響はあるものの一過性のイベントとして終わってしまっていることから、令和8年度は1か月間東京都内のデパートや展示場等においてアンテナショップを設置し、これまで開発してきた新たな「からむし織」製品の販売や昭和村の素材をいかした新たな製品を開発し、試験的に販売することを通じて、「からむし」及び本村をPRする。

⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

原子力災害以降、売上げが落ち込んでいる「からむし織」を中心とした製品や本村をPRする。

PRイベントにおいて、福島県復興情報ポータルサイトを案内（パンフレットやQRコードの設置等）する等、復興・創生に向けた取り組みを発信する。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

古より手作りで生産される「からむし」を首都圏の若者やインバウンド向けに合わせて開発した製品および本村の魅力をPRする。

3. 海外向け EC サイト構築事業

①実施期間：令和8年4月～2月

②実施体制：単独

③実施場所：海外（主に今年度イベントを開催する台湾および米国をターゲットとする。）

④概算費用：935 千円

⑤実施内容：

国内に向けてからむし製品の魅力をPRするとともに新たな販路を作るため、令和7年度にふるさと納税のWEBサイトを構築したが、海外に向けてからむし製品の魅力をPRするとともに新たな販路を構築するためECサイトを構築する。

⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

原子力災害以降、売上げが落ち込んでいる「からむし織」を中心とした製品や本村をPRする。

・ECサイトにふくしま復興ポータルサイトのリンクを貼り、復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報を発信する。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

古より手作りで生産される「からむし」を海外のニーズに合わせて開発した製品および本村の魅力をPRする。

4. 東京での展示会出展・PR 事業

- ①実施期間：令和8年2月ごろ
- ②実施体制：単独
- ③実施場所：東京都
- ④概算費用：1,707千円
- ⑤実施内容：

これまで「からむし織」製品の販売をしていただいていた県外の事業者の方が本村の支援イベントから撤退してしまったことから、新たに「からむし」の販売を支援していただける事業者を探すため、東京の展示会に出展し、「からむし織」及び本村の魅力をPRする。

※出店回数は1回、期間は2～3日程度で、アパレルや帽子、地方の物産を扱う事業者等に向けた展示会に参加する。

- ⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

原子力災害以降、売上げが落ち込んでいる「からむし織」を中心とした製品や本村をPRする。

PRイベントにおいて、福島県復興情報ポータルサイトを案内（パンフレットやQRコードの設置等）する等、復興・創生に向けた取り組みを発信する。

- ⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

古より手作りで生産される「からむし」を首都圏の若者やインバウンド向けに合わせて開発した製品および本村の魅力をPRする。

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
<ul style="list-style-type: none"> ①台湾及び米カリフォルニアにおいて、本村及び「からむし」をPRするイベントを開催する。 ②東京都において1か月間にわたり本村及び「からむし」をPRするイベントを開催する。 ③海外向けのECサイトを構築する。 ④東京都で開催される展示会に出展し、本村及び「からむし」をPRするイベントを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①海外におけるイベントの来場者数 1,000人以上 ②県外におけるイベントの来場者数 1,000人以上 ③からむし織製品売上高 H22年度販売額対比110%以上
長期的な目標 ※1つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載(○%)
からむし織製品売上高 17,194千円 H22年度販売額対比110%以上	R5年度 14,016千円(81.5%) R6年度 12,859千円(74.7%)